



— 第 1 回 —

人物紹介

湘南で半世紀続く出版社 株式会社湘風舎

代表取締役 **泉 信子さん**

湘南エリアの「いま」を届ける情報タウン誌「湘南百撰」代表

藤沢の出版社「湘風舎」の代表を務める泉信子さん。2021年10月で満97歳を迎えます。藤沢、茅ヶ崎、鎌倉、小田原、箱根など湘南エリアのイベントや自然や歴史、エッセイなどを紹介する情報タウン誌「湘南百撰」を発行し、今も現役で企画からレイアウトまで携わり、読者の手元に送り届けています。

「生まれは北海道でございます。ご縁があり、浜松で『小泉』という割烹旅館(北鎌倉の設計事務所叶家・田中 青滋氏設計)の商いをしておりました」。女将時代は、地元の常連客をはじめ、日本の政界・財界、名士の方々との出逢いがあったと話します。

藤沢に移り住むきっかけとなったのは、本鵠沼に別荘を構える自動車メーカー「本田技研工業(株)」創始者・本田宗一郎さんの一言でした。「もう料亭の時代ではない。これから大きく発展する藤沢に店を出すといい」。そう勧められ、藤沢の街をリサーチ後、さいか屋でサンドイッチ店「飛行船」、やきとり釜飯の店「鳥っこ」など飲食店を複数出店し、大繁盛しました。

「湘南百撰」創刊の経緯を伺うと、「息子(泉 秀樹氏)の恩師である遠藤周作先生より“もっと本を読みなさい。とにかく本を読まないにだめですよ”とご教示頂いたのです。もともと本好きでしたし、銀座の情報タウン誌「銀座百点」への憧れも強く、いつかこのような本を作りたいと夢を抱いておりました」。

夢を叶えたのは1972年、藤沢の情報タウン誌「藤沢風物」を発行し、創刊号に里見弴先生、その後も井上靖先生、佐藤愛子先生から原稿が寄せられ、文化的要素の濃い冊子として存在感を発揮しました。

「創刊号を手にした時はうれしくて身震いするほどでした」と泉さん。後に「湘南物語」(1996年～)、「湘南百撰」(2009年～)と変遷を経て今に至ります。

タウン誌に関わって半世紀。「それもこれも湘南という土壌と皆々様の懐の深さ、そして一緒に制作に関わってくださる方々のおかげと感謝しております。これからも元気の限り、続けてまいりますので、よろしくお願い申し上げます」



座右の銘は
“お人は宝”
皆様を「師」と
仰いでいます



▲浜松出身の「すきやばし次郎」の小野二郎さんとは旧知の仲。久しぶりの再会に感極まって……。

▶泉さんは、藤沢市内の医療関係者らで構成される「歩みの会」(坂本則敏会長)の名誉顧問。車椅子や義援金の寄付活動を行う。(写真は2016年5月)



「藤沢風物」「湘南物語」の創刊号。藤沢市総合市民図書館で閲覧できます。

株式会社 湘風舎

神奈川県藤沢市鵠沼藤が谷1-10-6

TEL : 0466-26-9991 FAX : 0466-26-9992